

平成24年度
西原町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書
(平成23年度事業実績)

平成24年9月

西原町教育委員会

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の執行及び管理状況について点検及び評価を行いましたので、報告いたします。

この報告書は、平成 21 年度から、毎年作成し公表しておりますが、今後も報告書の内容充実に努め、町民に分かりやすいものにするために、必要な検討を加えていくこととしています。

西原町教育委員会としては、点検評価の実施を通じて、教育施策の検証と改善を図りながら、本町教育行政の着実な推進につなげていきたいと考えております。

平成24年9月

西原町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1. 教育委員会の活動について

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、首長から独立した行政委員会として各都道府県、市町村に設置されており、5人の教育委員により組織され、その合議の下に、教育、文化、スポーツ等に関する教育行政の事務を行います。

通常の事務については、委員の中から選任された教育長を通じて執行管理を行いますが、教育行政の基本的な方針や委員会の規則や規程の制定、学校その他教育機関の設置や廃止、教育機関の職員の任免、事務事業の評価等は教育長に委任することはできず、委員会自らが執行管理をすることになっています。

西原町教育委員会では、毎月20日に教育委員会の定例会議を開催し、必要事項を審議し決定しています。また、教育委員会の主催事業や町の行事、各種の研修会等にも積極的に参加しています。

平成23年度の委員の構成及び定例会・臨時会の開催状況並びに各種行事等への参加状況は次のとおりです。

(1) 委員の構成

役職	氏名	任期	教育委員としての経歴		備考
			当初就任	勤続年月数	
委員長	松岡 幸子	H22.4.1～H26.3.31	平成 22 年度	2 年	委員長1年
委員長職務代理者	前泊 加代子	H23.4.1～H27.3.31	平成 23 年度	1 年	
委員	仲本 紀男	H20.4.1～H24.3.31	平成 20 年度	4 年	委員長 1 年
委員	下地 勝也	H21.4.1～H25.3.31	平成 21 年度	3 年	
教育長	波平 常則	H23.4.1～H25.3.31	平成 16 年度	1 年 6 ヶ月	教育長 1 年 6 ヶ月

(2) 会議の開催状況

会議の名称	開催日	場所	案件
第1回(4月)臨時会	平成23年4月1日	西原町教育委員会 教育長室	・教育長及び教育委員長の選任について
第1回(4月)定例会	平成23年4月18日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町立学校管理規則の一部を改正する規則について ・西原町学校給食費滞納整理等事務処理要綱について ・西原町青少年健全育成協議会会長について ・第56回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会、研修会について ・交通安全、防犯活動朝のあいさつ運動割当てについて
第2回(5月)定例会	平成23年5月23日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町教育委員会職員への併任に関する規程の一部を改正する規程について ・平成23年度西原町一般会計補正予算(第1号)について ・西原町社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例について ・学校訪問について ・平成23年度沖縄県市町村教育委員会連合会研修会(分科会)報告 ・平成23年度西原町地域ぐるみ学力向上対策協議会監査委員について
第3回(6月)定例会	平成23年6月20日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町教育委員会の事務事業の点検・評価について ・平成24年度以降使用中学校教科用図書の見本展示について ・第9回九州地区市町村教育委員会研修大会の派遣について ・西原東中学校前県道工事について(用地交換)
第2回(7月)臨時会	平成23年7月11日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度学校訪問総括 ・西原町教育委員会職員への勸奨退職について

第4回(7月)定例会	平成23年7月20日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災等に伴う被災者世帯等に係る幼稚園入園料及び保育料の減免取扱規程について ・西原町立幼稚園保育料等の減免に関する規則の一部を改正する規則について ・平成 24 年度以降使用中学校教科用図書の新採について ・沖縄県職員の給与に関する条例における沖縄県教育委員会の権限に属する諸手当の認定事務の移譲に係る協議について ・西原町立小中学校規模適正化基本方針について ・平成 22 年度西原町教育委員会の事務事業の点検及び評価について
第5回(8月)定例会	平成23年8月22日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町教育委員会の事務事業の点検及び評価実施要綱について ・平成 23 年度西原町一般会計補正予算(第 2 号)について
第6回(9月)定例会	平成23年9月29日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則の一部を改正する規則について ・平成 24 年度研修会における分科会協議題案について ・平成 25 年度文教施策とその予算措置に関する要請事項について ・第9回九州地区市町村教育委員研修大会参加報告
第7回(10月) 定例会	平成23年10月20日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・坂田小学校のクーラー設置要請について

<p>第8回(11月) 定例会</p>	<p>平成23年11月21日</p>	<p>西原町役場 上下水道庁舎2階会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則の一部を改正する規則について ・西原町体育指導委員に関する規則の一部を改正する規則について ・西原町教育委員会事務局組織及び事務分掌に関する規則の一部を改正する規則について ・西原町立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について ・西原町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について ・西原町子ども理解のための支援事業実施要綱について ・西原町立学校管理規則の一部を改正する規則 ・平成23年度西原町一般会計補正予算(第3号)について ・平成22年度西原町教育委員会の事務事業の点検及び評価報告書について ・平成24年成人式における役割分担について ・町長との情報交換会について
<p>第9回(12月) 定例会</p>	<p>平成23年12月20日</p>	<p>西原町役場 上下水道庁舎2階会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度西原町一般会計予算について ・町長との情報交換会について
<p>第3回(1月) 臨時会</p>	<p>平成24年1月16日</p>	<p>西原町教育委員会 教育長室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年1月14日沖縄タイムス掲載『論壇』の真偽について
<p>第10回(1月) 定例会</p>	<p>平成24年1月20日</p>	<p>西原町役場 上下水道庁舎2階会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町子ども理解のための支援事業実施要綱について ・西原町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について

<p>第11回(2月) 定例会</p>	<p>平成24年2月20日</p>	<p>西原町役場 上下水道庁舎2階会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町立図書館管理規則の一部を改正する規則について ・西原町立図書館設置条例の一部を改正する条例について ・西原町中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ・西原町教育委員会バス使用規程の一部を改正する規程について ・国指定史跡「内間御殿」保存管理計画策定委員会設置要綱について ・西原町附属附機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について ・平成24年度西原町教育委員会教育施策について ・平成23年度西原町一般会計補正予算(第4号)について ・社会教育委員との意見交換会について
<p>第4回(2月) 臨時会</p>	<p>平成24年2月24日</p>	<p>西原町役場 上下水道庁舎2階会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動(学校管理職)について ・平成24年度西原町教育委員会教育施策について ・社会教育委員との意見交換会について
<p>第12回(3月) 定例会</p>	<p>平成24年3月15日</p>	<p>西原町役場 上下水道庁舎2階会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について ・西原町立図書館庶務規程の一部を改正する規程について ・西原町国指定史跡内間御殿保存管理計画策定委員会設置要綱について ・西原町史編集委員会要綱を廃止する要綱について ・人事異動(事務局管理職)について ・人事異動(事務局係長以下職員)について ・平成24年度学校行事の参加割当てについて ・平成24年度交通安全、防犯活動朝のあいさつ運動について

定例会12回、臨時会4回を開催しました。

(3) 研修会、勉強会等の参加状況

日付	場所	研修会等の名称	参加委員
平成23年5月12日 ～13日	豊見城市立中央公民館	第56回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 仲本紀男委員 波平常則教育長
平成23年6月2日	読谷村文化センター	中頭地区市町村教育委員会連合会総会・研修会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 仲本紀男委員 波平常則教育長
平成23年7月15日	中頭教育事務所	平成23年度中頭地区市町村教育委員会連合会新任教育委員研修会	前泊加代子委員 波平常則教育長
平成23年8月25日 ～26日	熊本ホテルキャッスル	第9回九州地区市町村教育委員研修大会	下地勝也委員
平成23年10月3日	那覇市民会館 中ホール	平成23年度沖縄県市町村教育委員会研修会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 仲本紀男委員 波平常則教育長
平成23年12月20日	西原町役場 町長室	町長との情報交換会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 仲本紀男委員 下地勝也委員 波平常則教育長
平成24年2月2日	中頭教育事務所	平成23年度中頭地区市町村教育委員会連合会講演会	前泊加代子委員 波平常則教育長
平成24年2月3日	沖縄県庁4階講堂	平成23年度市町村教育委員会教育委員・教育長研修会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 下地勝也委員 波平常則教育長
平成24年3月12日	西原町役場 上下水道庁 舎2階会議室	西原町社会教育委員との懇談会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 波平常則教育長

上記のほか、定例会前の事前勉強会を12回、教育委員会事務事業の点検評価に関する会議を2回開催しました。

(4) 主催行事や学校行事等への参加状況

日付	場所	行事等の名称	参加委員
平成23年4月8日	坂田小学校	入学式	下地勝也委員
平成23年4月8日	西原小学校	入学式	松岡幸子委員長
平成23年4月8日	西原東小学校	入学式	仲本紀男委員
平成23年4月8日	西原南小学校	入学式	前泊加代子委員 波平常則教育長
平成23年4月8日	西原中学校	入学式	仲本紀男委員 前泊加代子委員 波平常則教育長
平成23年4月8日	西原東中学校	入学式	松岡幸子委員長 下地勝也委員
平成23年4月11日	坂田幼稚園	入園式	前泊加代子委員
平成23年4月11日	西原幼稚園	入園式	松岡幸子委員長
平成23年4月11日	西原南幼稚園	入園式	仲本紀男委員
平成23年5月31日	西原小学校・幼稚園	学校訪問	全委員(5人)
平成23年6月2日	坂田小学校・幼稚園	学校訪問	全委員(5人)
平成23年6月8日	西原東小学校・幼稚園	学校訪問	全委員(5人)
平成23年6月17日	西原東中学校	学校訪問	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 仲本紀男委員 波平常則教育長
平成23年6月18日	西原町中央公民館	内閣御殿国指定記念シンポジウム	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 波平常則教育長
平成23年6月21日	西原中学校	学校訪問	全委員(5人)
平成23年7月5日	西原南小学校・幼稚園	学校訪問	全委員(5人)
平成23年8月11日	西原町中央公民館	西原町学校教育委員会合同研修会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 波平常則教育長
平成23年8月29日	西原町中央公民館	西原町中学生海外短期留学派遣事業帰国報告会	全委員(5人)
平成23年9月23日	西原東小学校	運動会	松岡幸子委員長
平成23年9月25日	坂田小学校	運動会	仲本紀男委員
平成23年9月25日	西原小学校	運動会	前泊加代子委員 波平常則教育長

平成23年9月25日	西原南小学校	運動会	下地勝也委員
平成23年10月14日	エリスリーナ西原	第5回世界のニシハランチュの集い	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 仲本紀男委員 波平常則教育長
平成23年10月30日	西原東中学校	体育祭	松岡幸子委員長 下地勝也委員
平成23年10月30日	西原中学校	文化祭	前泊加代子委員 波平常則教育長
平成23年11月13日	西原きらきらビーチ	第4回西原町小・中学生ビーチバレー大会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 下地勝也委員 波平常則教育長
平成23年11月15日	西原町立図書館	第13回西原町中学生英語ストーリーコンテスト	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 仲本紀男委員 波平常則教育長
平成23年12月5日	西原町中央公民館	西原町海外移住者子弟研究生受入事業修了式	全委員(5人)
平成23年12月8日	西原南小学校	西原町地域ぐるみ学力向上対策協議会学校教育 部会幼・小・中連携授業	全委員(5人)
平成23年12月18日	西原小学校	学芸会	松岡幸子委員長
平成23年12月21日	西原東中学校	国立教育研究所「魅力ある学校づくり」調査研究 事業実践報告会	全委員(5人)
平成24年1月8日	西原町民体育館	成人式	全委員(5人)
平成24年1月29日	坂田小学校	学芸会	前泊加代子委員
平成24年1月29日	西原東小学校	学芸会	下地勝也委員 波平常則教育長
平成24年2月4日	西原南小学校	学芸会	仲本紀男委員
平成24年2月4日	西原東中学校	西原町教育の日	全委員(5人)
平成24年2月20日	西原町中央公民館	平成23年度家庭教育学級合同講演会「もし西原 町で『巨大地震・津波』が起きたら」	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 下地勝也委員 波平常則教育長
平成24年2月25日 ～26日	西原町中央公民館	西原町中央公民館まつり	全委員(5人)
平成24年3月1日	西原高等学校	卒業式	松岡幸子委員長
平成24年3月10日	西原中学校	卒業式	松岡幸子委員長 仲本紀男委員

平成24年3月10日	西原東中学校	卒業式	前泊加代子委員 下地勝也委員 波平常則教育長
平成24年3月19日	坂田幼稚園	卒園式	仲本紀男委員
平成24年3月19日	西原幼稚園	卒園式	前泊加代子委員
平成24年3月19日	西原東幼稚園	卒園式	松岡幸子委員長
平成24年3月19日	西原南幼稚園	卒園式	下地勝也委員
平成24年3月22日	坂田小学校	卒業式	松岡幸子委員長
平成24年3月22日	西原小学校	卒業式	波平常則教育長
平成24年3月22日	西原東小学校	卒業式	下地勝也委員
平成24年3月22日	西原南小学校	卒業式	仲本紀男委員

(5)その他の活動

日付	場所	行事等の名称	参加委員
平成23年4月14日	中頭教育事務所	中頭地区青少年育成市町村民会議定期総会	松岡幸子委員長
平成23年4月15日	中頭教育事務所	中頭地区市町村教育委員会連合会第1回理事会	松岡幸子委員長
平成23年4月27日	西原町中央公民館	西原町婦人連合会パネルディスカッション	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 波平常則教育長
平成23年4月30日	西原中央公民館	『梅の香り』うた遊び大会	前泊加代子委員
平成23年5月12日	西原町役場2階大会議室	第18回西原まつり(第1回)実行委員会	松岡幸子委員長 波平常則教育長
平成23年5月14日	西原町中央公民館	西原町婦人連合会定期総会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 波平常則教育長
平成23年5月17日	西原町役場 2階大会議室	西原町地域ぐるみ学力向上対策協議会定期総会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 波平常則教育長
平成23年5月21日	西原町中央公民館	西原町 PTA 連合会定期総会	前泊加代子委員 下地勝也委員
平成23年5月28日	西原町中央公民館	西原町文化協会定期総会	松岡幸子委員長 波平常則教育長
平成23年6月23日	西原運動公園	西原町平和音楽祭2011～東日本大震災復興支援～	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 下地勝也委員 波平常則教育長

平成23年7月7日	西原町中央公民館	東日本被災者支援チャリティーたなばたコンサート	松岡幸子委員長
平成23年7月23日	西原南小学校	南っ子まつり	仲本紀男委員 波平常則教育長
平成23年7月24日	西原東小学校	東っ子まつり	前泊加代子委員 仲本紀男委員 波平常則教育長
平成23年8月2日	中城村吉の浦会館	西原町・中城村・北中城村共催 教育講演会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 波平常則教育長
平成23年8月25日	中頭教育事務所	中頭地区市町村教育委員会連合会臨時理事会	松岡幸子委員長
平成23年9月4日	西原町民陸上競技場	第32回西原町陸上競技大会	全委員(5人)
平成23年9月13日	製糖記念小公園 (西原町小那覇交差点付近)	製糖記念小公園除幕式	松岡幸子委員長 波平常則教育長
平成23年9月14日	西原町役場 2階大会議室	第18回西原まつり(第2回)実行委員会	松岡幸子委員長 波平常則教育長
平成23年10月18日	西原東中学校	第32回 西原町童話・お話・意見発表大会(中学校 意見発表大会)	全委員(5人)
平成23年10月19日	西原東小学校	第32回 西原町童話・お話・意見発表大会(小学校 童話・お話大会)	全委員(5人)
平成23年10月20日	中頭教育事務所	中頭地区市町村教育委員会連合会第2回理事会	松岡幸子委員長
平成23年11月4日	西原町中央公民館	第11回西原町文化協会合同展示会	松岡幸子委員長
平成23年11月18日	西原町立図書館	「小学生の税に関する書道」、「中学生の税に関する標語」、「税に関する 高校生の作文」表彰式	松岡幸子委員長 波平常則教育長
平成23年11月18日	西原東小学校	西原東中学校区学校区教育部会幼小中連携授業研究会	全委員(5人)
平成23年12月6日	西原町役場 2階大会議室	第18回西原まつり(第4回)実行委員会	松岡幸子委員長 波平常則教育長
平成23年12月18日	西原東小学校	西原東小学校創立30周年記念式典・祝賀会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 仲本紀男委員 波平常則教育長
平成24年1月27日	西原町中央公民館	西原町功労者表彰式典・祝賀会	波平常則教育長 松岡幸子委員長 波平常則教育長
平成24年1月28日	西原町中央公民館	沖縄県文化協会賞受賞者祝賀会及び新春の集い	松岡幸子委員長 波平常則教育長
平成24年2月17日	中頭教育事務所	中頭地区市町村教育委員会連合会第3回理事会	松岡幸子委員長

平成24年2月18日	北中城中学校	第34回中頭地区学力向上推進大会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 波平常則教育長
平成24年3月13日	西原町中央公民館	第15回西原町社会福祉大会	松岡幸子委員長 前泊加代子委員 仲本紀男委員 波平常則教育長

上記のほか、交通安全・防犯活動朝のあいさつ運動に11回参加し、松岡幸子教育委員長が平成23年4月まで、波平常則教育長が平成23年5月から西原町青少年健全育成協議会会長を、松岡幸子委員長が西原町人材育成会副会長、西原町交通安全推進協議会副会長及び西原町平和事業推進委員を、下地勝也委員が西原町社会福祉協議会理事及び西原町福祉協議会第3次地域福祉活動計画策定専門委員を務め、関連行事に参加しました。

2. 教育委員会の活動に対する評価

沖縄県教育委員会連合会等が主催する研修会に参加し、教育委員としての資質向上に努め、定例会の前には勉強会を持ち、情報収集、意見交換を行い、教育行政に関する重要な決定を適正に行えるように努めています。

学校訪問をはじめ、学校行事や町の各種行事にも多数出席し、教職員、児童生徒、運営実行者、参加者を激励することができました。毎月はじめに行う交通安全・防犯活動朝のあいさつ運動に参加し、登校する児童生徒に声かけし、子ども達と直接ふれあい、顔の見える活動を心がけています。

また、町内教育関係者として西原町青少年健全育成協議会や西原町人材育成会、西原町交通安全推進協議会等の役員を担い、教育行政の推進に努めました。

有識者会議からは、各行事等への委員の参加状況や会議の改善などをみると、積極的に活動しているとの評価をいただきました。

3. 事務の点検評価について

事務の点検評価にあたっては、西原町総合計画後期計画の基本計画『平和で人間性豊かな創造のまち』の中の施策「学校教育の充実」「社会教育・スポーツ活動の充実」「コミュニティ活動支援の充実」「文化の継承・発展と創造」「国際・国内交流の推進」に位置付けられる事業のうち、重要と思われる30事業を抽出して行いました。

具体的な方法としては、各事業ごとに「事業概要・目標」「取り組み内容と成果」「課題」をまとめた評価シートを担当課にて作成し内部評価を行い、有識

者会議を開き意見を聴取し、有識者からの意見を踏まえた上で、教育委員会が点検及び評価を行い、報告書としてまとめました。

なお、評価の基準については、事務事業を客観的に判断するため、次の4段階評価としました。

A:目標が達成できた。

B:目標が概ね達成できた。

C:目標が一部しか達成できなかった。

D:目標が達成できなかった。

以上によって評価された平成23年度の結果は次のとおりです。

平成23年度教育委員会事務事業評価シート

(教育委員会会議)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
1	教育委員会会議 (教育総務)	西原町の教育に関する方針の策定、規則の制定・改廃、予算等に関する意見の申出、その他重要な事項の決定を適正に行う。	<p>教育委員会が西原町教育行政の主体としての役割を果たすため、委員の資質向上、事務点検評価の充実、会議の見直し等を行った。</p> <p>県外研修をはじめ、多数の研修・事業に参加し、町長・社会教育委員との情報交換会、定例会事前勉強会を開催した。</p> <p>事務事業点検評価において、有識者の知見の活用を図るため有識者会議を設置し、前年度よりも3ヶ月早めて、議会への報告を12月定例会で行った。</p> <p>教育委員会会議において、予算案を議会に提案する前に審議し、方針の策定、規則の改廃等に関して修正案を出す等、適正な決定を行った。</p> <p>・教育委員会定例会の実施 12回/年 ・教育委員会臨時会の実施 4回/年</p>	<p>保護者や地域住民の意向を把握し、教育行政に反映する為、関係団体と意見交換の場を持つ等、広く情報収集に努める。</p> <p>教育行政に関する相談体制の整備を図る。</p> <p>教育委員会と町長部局との情報交換会を持ち、諸課題解決のために協力連携を図る。</p> <p>教育委員会の活動を地域住民に伝えられるよう広報活動を行う。</p>	B	<p>前年度指摘のあった予算案の審議が事前に行われるなど、多くの改善点が見られる。</p> <p>教育委員会の活動について、町民への広報活動の強化が必要である。</p>

(学校教育の充実)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等									
2	人材育成会 補助金交付事業 (教育総務)	<p>西原町人材育成会に補助金を交付する。 人材育成会の事業概要は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内に住所を有する者で優秀な学生生徒で経済的理由による就学困難なものに対し、学資を無利子で貸与する。 ・児童生徒が体育行事・文化活動等で県を代表し、県外に派遣される場合の経費に対し、助成を行う。 	<p>【補助金交付額】 4,518,430 円</p> <p>上記補助金のうち町民、企業からの指定寄附金が4,018,430 円あり、事業運営がスムーズに行えた。</p> <p>学資貸与事業では、県外大学就学者9名、県内大学就学者19名、県内高校修学者4名に対し、学資貸与を行った。</p> <p>派遣助成事業では、児童生徒の活躍により、ハレホール・なぎなた・ソフトテニス・合唱・マーチング等の県外大会派遣に対し、助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学資貸与額(新規) 4,080,000 円 (11人) ・学資貸与額(継続) 6,120,000 円 (21人) ・派遣助成額 7,963,000 円 (41件 207人) <p>滞納者について、町の顧問弁護士名による納付催告を行った結果、わずかながら改善が見られた。</p> <p>【学資貸与金滞納状況】</p> <table border="1" data-bbox="734 938 1317 1054"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滞納者数</td> <td>49人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>27,995,787円</td> <td>27,865,287円</td> </tr> </tbody> </table>		平成22年度	平成23年度	滞納者数	49人	49人	滞納額	27,995,787円	27,865,287円	<p>学資貸与金の滞納金の回収を強化するため、滞納整理嘱託員を活用し、将来的に持続可能な財政運営の安定を図る必要がある。</p> <p>平成22年度から学資貸与額を増額し、児童生徒の派遣助成の要望も多くなっているなか、資金の調達として、町民・企業等からの寄附金についても、増額を図るよう取り組む必要がある。</p>	B	<p>徴収強化を行い、学資貸与に係る償還金の滞納繰越額の圧縮を図る必要がある。</p> <p>派遣助成額に見合うよう町内企業や町民へ寄付を呼びかけて歳入確保を図る必要がある。</p>
	平成22年度	平成23年度													
滞納者数	49人	49人													
滞納額	27,995,787円	27,865,287円													

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																		
3	小学校施設維持管理 (教育総務)	各小学校の施設の適正な維持管理を行う。	<p>西原東小の職員室、保健室、坂田小の図書室、職員室のクーラー取替修繕を行った。 また、平成 24 年度に坂田小学校の一部教室のクーラー設置を行う。 受水槽等改修工事やプール日よけネット設置工事を行った。 西原町立小中学校規模適性化基本方針を策定し、学校適正配置の基本的な考え方をまとめた。</p> <table border="0"> <tr> <td>【施設の修繕】</td> <td>4 校分</td> <td>8,100 千円</td> </tr> <tr> <td>【保守点検等委託】</td> <td>4 校分</td> <td>16,198 千円</td> </tr> <tr> <td>【使用料及び賃借料】</td> <td>4 校分</td> <td>4,606 千円</td> </tr> <tr> <td>【施設・設備工事】</td> <td></td> <td>9,884 千円</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・プール日よけネット設置工事 (西原東小、西原南小) ・電話設置工事 (西原東小) ・受水槽等改修工事 (西原東小) ・ブロック設置工事 (西原東小) 	【施設の修繕】	4 校分	8,100 千円	【保守点検等委託】	4 校分	16,198 千円	【使用料及び賃借料】	4 校分	4,606 千円	【施設・設備工事】		9,884 千円	<p>老朽化する学校施設の安全性を確保するには適正な維持管理が要求されるので、今後の予算拡大が望まれる事業である。 今後解決しなければならない課題がある。</p> <p>①空調機等の設備修繕や設置 ②坂田小学校の改築による不足教室等の解消</p>	B	老朽化する校舎を抱えているため、緊急的な修繕への対応と一定期間ごとに維持補修をするなど、全体的な計画を策定する必要がある。						
【施設の修繕】	4 校分	8,100 千円																						
【保守点検等委託】	4 校分	16,198 千円																						
【使用料及び賃借料】	4 校分	4,606 千円																						
【施設・設備工事】		9,884 千円																						
4	中学校施設維持管理 (教育総務)	各中学校の施設の適正な維持管理を行う。	<p>西原中学校渡り廊下工事を行い、雨天時の移動対策を行った。 西原中学校の旧耐震基準の建物の耐震診断調査を平成 24 年度に実施する予定である。</p> <table border="0"> <tr> <td>【施設の修繕】</td> <td>2 校分</td> <td>4,195 千円</td> </tr> <tr> <td>【保守点検等委託】</td> <td>2 校分</td> <td>9,777 千円</td> </tr> <tr> <td>【使用料及び賃借料】</td> <td>2 校分</td> <td>1,456 千円</td> </tr> <tr> <td>【施設・設備工事】</td> <td></td> <td>3,381 千円</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・給水管取替工事 (西原中) ・防球ネット改修工事 (西原中) ・鉄骨階段設置工事 (西原中) ・プールピット内配管改修工事 (西原中) <table border="0"> <tr> <td>【施設・設備工事(繰越事業)】</td> <td></td> <td>8,872 千円</td> </tr> <tr> <td>・渡り廊下工事</td> <td></td> <td>(西原中)</td> </tr> </table>	【施設の修繕】	2 校分	4,195 千円	【保守点検等委託】	2 校分	9,777 千円	【使用料及び賃借料】	2 校分	1,456 千円	【施設・設備工事】		3,381 千円	【施設・設備工事(繰越事業)】		8,872 千円	・渡り廊下工事		(西原中)	<p>老朽化する学校施設の安全性を確保するには適正な維持管理が要求されるので、今後の予算拡大が望まれる事業である。 今後解決しなければならない課題がある。</p> <p>①西原中学校の旧耐震基準の建物の耐震診断調査の実施 ②児童生徒を紫外線から守るため、学校プールの日よけネットの設置</p>	B	老朽化する校舎を抱えているため、緊急的な修繕への対応と一定期間ごとに維持補修をするなど、全体的な計画を策定する必要がある。
【施設の修繕】	2 校分	4,195 千円																						
【保守点検等委託】	2 校分	9,777 千円																						
【使用料及び賃借料】	2 校分	1,456 千円																						
【施設・設備工事】		3,381 千円																						
【施設・設備工事(繰越事業)】		8,872 千円																						
・渡り廊下工事		(西原中)																						

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等												
5	幼稚園施設維持管理 (教育総務)	各幼稚園の施設の適正な維持管理を行う。	<p>西原東幼稚園給水管改修工事や遊戯室床修繕を行った。 予算の範囲内で優先度の高いものから実施した。 主な内容は次のとおり</p> <table border="1"> <tr> <td>【施設修繕費】</td> <td>4園分</td> <td>1,773千円</td> </tr> <tr> <td>【保守点検等委託】</td> <td>4園分</td> <td>186千円</td> </tr> <tr> <td>【施設・設備工事】</td> <td></td> <td>661千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">・給水管改修工事 (西原東幼)</td> </tr> </table>	【施設修繕費】	4園分	1,773千円	【保守点検等委託】	4園分	186千円	【施設・設備工事】		661千円	・給水管改修工事 (西原東幼)			<p>学校施設の安全性を確保するには適正な維持管理が要求されるので、今後予算の拡大が望まれる事業である。 また、今後解決しなければならない課題として、次の事業がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①西原東幼稚園の旧耐震基準の建物の耐震診断調査の実施 ②西原南幼稚園の保育室及び預かり保育室の増設 ③4歳児保育のクラス拡大のための施設整備 	B	<p>幼稚園2年保育事業の改善と併せて、保育室の増設を優先課題として取り組む必要がある。 老朽化する校舎を抱えているため、緊急的な修繕への対応と一定期間ごとに維持補修をするなど、全体的な計画を策定する必要がある。</p>
【施設修繕費】	4園分	1,773千円																
【保守点検等委託】	4園分	186千円																
【施設・設備工事】		661千円																
・給水管改修工事 (西原東幼)																		
6	学校ICT環境整備事業 (教育総務)	<p>情報化社会に対応できる人材を育成する教育環境を整えるため、各小中学校へコンピュータ等のICT機器の導入やネットワーク環境の整備・維持管理を行う。 また、校務支援システムの導入等により教員の校務負担を軽減し、教員が児童生徒と向き合う時間を確保することを目指す。</p>	<p>前年度の課題であった補助事業対象外のICT機器等の追加整備を中心に取り組んだ。(主な内容は以下のとおり)。本年度にて現行システムに必須となるPC環境はほぼ整った。</p> <table border="1"> <tr> <td>職員共有PC(リース替え)</td> <td rowspan="2">1,123千円</td> </tr> <tr> <td>校長室・特別支援学級PC(新規リース)</td> </tr> <tr> <td>大判プリンタ(リース替え)</td> <td>191千円</td> </tr> <tr> <td>西原東中コンピュータ室環境(リース替え)</td> <td>1,085千円</td> </tr> <tr> <td>その他既存リース費用・保守費用 (一部終了)</td> <td>3,547千円</td> </tr> <tr> <td>その他ライセンス・プリンタ等の購入</td> <td>1,253千円</td> </tr> </table> <p>また、学校保健室のシステム入替に際し、平成24年度からの本格運用に向け、データ移行や操作研修等の技術的支援を行った。 高度専門化が進む本業務については、本年度より電算係職員に併任辞令を発令して相互協力体制を強化し、保守業務の効率化等を図っている。</p>	職員共有PC(リース替え)	1,123千円	校長室・特別支援学級PC(新規リース)	大判プリンタ(リース替え)	191千円	西原東中コンピュータ室環境(リース替え)	1,085千円	その他既存リース費用・保守費用 (一部終了)	3,547千円	その他ライセンス・プリンタ等の購入	1,253千円	<p>文部科学省が見据える目標を達成するには今後もさらなるICT機器やソフトウェア環境の整備・充実が必要となる。本町の財政事情等を勘案し、慎重かつ計画的に整備を進めていく必要がある。 現行システムの操作説明・活用支援等の継続的な技術的支援、ICT機器やネットワークのトラブルシューティング等を安定的に行うための仕組みづくりが重要である。</p>	B	<p>ICT機器やソフトウェア環境等の整備・保守費用は高額になりやすく、技術の進歩も著しい。今後も、費用対効果を踏まえながら、本町の規模に応じたICT環境づくりに取り組む必要がある。 また、保守業務の効率化・システムの安定化にも継続的に取り組む必要がある。</p>	
職員共有PC(リース替え)	1,123千円																	
校長室・特別支援学級PC(新規リース)																		
大判プリンタ(リース替え)	191千円																	
西原東中コンピュータ室環境(リース替え)	1,085千円																	
その他既存リース費用・保守費用 (一部終了)	3,547千円																	
その他ライセンス・プリンタ等の購入	1,253千円																	

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
7	学校施設防音 工事 (教育総務)	普天間飛行場からの航空機の離発着等による騒音を軽減するために、校舎の防音工事を行う。	坂田小学校及び西原東小学校が未整備となっている。 坂田小学校について、増築を繰り返した結果、校舎間の配置がいびつになっているため、一番古い校舎に耐力度調査をいれ、それにつながっている同年代に建築された2棟を取り壊し、増改築を行うことにより不足教室を解消する。同時に併行防音工事を導入する。 その他の既設の校舎には、改造防音工事を導入し防音工事を行う。 西原東小学校は、坂田小学校の導入後に行う。	坂田小学校について、耐力度調査を導入する。	B	坂田、西原東小学校が未整備となっている。県及び国と協議の上、早急な整備が必要である。
8	学校給食共同調理場事務 運営事業 (教育総務)	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な給食の献立、調理及び運搬を行うため職員指導、自己啓発に努め、衛生意識の向上を図る。 ・給食費負担金の徴収率のアップを図る。 ・施設の整備を図る。 ・地産地消の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の加入率が平成22年4月分では57.02%だったのが、平成23年4月分では57.59%へ向上した。 ・平成23年度の給食費の徴収率は96.89%で前年度比1.08ポイント向上した 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化対策と設備の整備、備品の充実が必要である。 ・地産地消については現在、JAを通して発注しているが、食数に対して賄える量がまだまだ少ない状況なので今後、町地産地消担当課と連携しながら地場産物が増産できるような体制づくりが必要である。 ・滞納整理嘱託員を採用し、学校給食費の滞納額の圧縮を図る必要がある。 	B	給食でワンプレート皿を使用しているが、食育、マナー教育等の面から、改善する必要がある。
9	学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の充実 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な学校訪問の実施により、学校課題の対策への支援指導助言に努める。 ・校長会、教頭会、学推主任及び研究主任会の開催により、学校運営・経営への指導助言と支援に努める。 ・必要に応じ各学校の授業研究会へ参加し、教員の授業力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校へ学力向上対策学校訪問を5月～6月に実施し、学校課題の共通理解・指導助言を行うことができた。 ・各種研修会、協議会を通して、町教育委員会の施策の徹底と取組の周知が図られ、実践5項目を推進することができた。 ・特に学力向上推進においては、教育講演会、授業研究会での指導助言を実施することにより、教師の授業力向上につながるよう努めた。 ・前年度の課題を踏まえ、教育委員会教育施策5項目については年度末に各学校への説明を行い、内容の見直しを図り、「西原の教育」に入れ込むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校訪問は実施できたが、適宜訪問する体制が整っていない。 ・学校支援・公務の充実から指導主事2人体制は極めて必要である。特に生徒指導・特別支援教育・学力向上推進の面において、指導主事の小学校、中学校の専門性は必要である。 	B	指導主事を最低でも2人配置して、学校支援を強化すべきである。 小学校、中学校、幼稚園それぞれに指導主事を配置する必要がある。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																			
10	道徳の時間の指導の充実 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年度教育施策 5 項目に「心の教育の推進」を取上げ、各学校において道徳教育の充実を図る。 各学校道徳の公開授業を実施し、教育活動全体において心の教育を推進する。 「豊かな心の育成」推進構想を策定し、道徳教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「豊かな心の育成」推進構想を策定し、学校教育活動全体を通して心の教育の充実に取り組んでいる。 各学校で道徳の時間を要とし、学校教育活動全体で、広く道徳教育の授業力の向上と理解を図っている。 「心のノート」を活用した道徳授業を展開している。 各学校の実態に即した年間計画 35 時間の内容を実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間を中心に心の教育を推進しているが、実践力においてはなお課題である。 道徳教育は、家庭教育との関連性が高く家庭教育力の向上が望まれるため、各家庭との連携強化を図る。 「道徳」の授業の工夫改善が求められる。 各教科との関連を踏まえた計画的な指導の充実 	B	<p>「心のノート」の活用については、今後もさらなる教材研究が必要である。</p> <p>地域の人材の活用を図る必要がある。</p>																			
11	学校・家庭・地域・諸機関との相互連携の強化 (学校教育課)	<p>学校、家庭、地域、関係機関との相互連携により、不登校児童生徒、問題行動児童生徒への指導・支援の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談室、スクールカウンセラーの活用により、不登校児童生徒が減少した。 中学校区生徒指導連絡協議会の開催により、地域連携が図られ、問題行動児童生徒の減少につながった。 管内警察署との連絡協議会を開催することにより、少年非行の防止につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動等に係る事件事故等がほとんど学校外で起きていることから、今後も地域による見守り、関係機関・団体等との連携や指導力の向上が望まれる。 家庭でのきまりをはじめ、基本的な生活習慣の確立が望まれる。 家庭における一人一役の奨励、地域力をどう学校に取り込むかが重要である。 	B	<p>中学校区の生徒指導連絡会など、地域の人達と意見交換する場を活用し、地域力を高める必要がある。</p>																			
12	要保護及び準要保護児童就学援助事業 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 経済的負担を軽減することにより、児童生徒が安心して学校生活を送り、平等に就学できるよう保障する。 学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費等を援助する。 	<p>厳しい経済状況の影響を受け、就学援助対象者は年々増え続けている状況である。</p> <p>平成 23 年度から就学援助制度について「認定基準参考例」として家族構成と所得の目安を町広報誌に掲載した。また、新入学児童生徒全員への通知の配布等で就学援助制度の周知を図っている。</p> <p>【要保護・準要保護就学援助対象者数】(単位:人、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>補助金額</th> <th>対象者</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>231</td> <td>12,492</td> <td>309</td> <td>17,079</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>123</td> <td>10,688</td> <td>187</td> <td>17,013</td> </tr> </tbody> </table>		平成22年度		平成23年度		対象者	補助金額	対象者	補助金額	小学校	231	12,492	309	17,079	中学校	123	10,688	187	17,013	<p>就学援助制度については、これまで広報誌への掲載で周知を図ってきたが、加えて町のホームページを活用する等して、就学援助制度についての周知徹底をし、受給対象者の把握漏れがないように努める必要がある。</p>	B	<p>認定基準を設け、町広報誌及びホームページに掲載したことにより、一定の周知が図られた。</p> <p>今後とも、制度の趣旨を踏まえ、周知徹底を図る必要がある。</p>
	平成22年度		平成23年度																						
	対象者	補助金額	対象者	補助金額																					
小学校	231	12,492	309	17,079																					
中学校	123	10,688	187	17,013																					

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
13	特別支援教育 就学指導体制 の充実 (学校教育課)	LD、ADHD、高機能自閉症等、障害のある児童生徒に対して、その一人一人の教育的ニーズを把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会の活用により、校内体制が充実している。 ・特別支援教育コーディネーターの位置づけにより、関係機関や保護者との連絡調整が円滑に進められた。 ・支援員を小学校に10人、中学校に2人配置することによって、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育や指導を支援することができた。 ・専門家(琉球大学教授)による巡回指導を実施した。 	<p>今後、特別支援教育の資質向上を図るためには、専任のアドバイザー、臨床心理士等を教育委員会に配置し、教員等への指導助言を行い、保護者が相談できる体制をつくる必要がある。</p>	B	特別支援教育の対象者は年々増えていることから、支援員の資質の向上、配置の改善に努め特別支援教育の充実を図る必要がある。
14	幼稚園2年保育 の充実拡大 (学校教育課)	幼児の健やかな成長のために、就学前の教育環境を与えて心身の発達を助長する。	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育として4園で2年保育を実施し、保護者から喜ばれている。また、単年度保育に比べ、園児の成長発達が著しく、教育効果は大きいものがある。 ・保育所の待機児童解消に役立っている。 ・各園4歳児は28人定員となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4歳児は各幼稚園1クラス設置なので、園によっては毎年定員枠を越える申込み希望者があり、抽選で入園児を決定している状況で、希望者全員を受入れできていない。 ・課題解消のために定数を増やすと保育効果や安全面での不安があり、教室増等大幅な予算措置が必要になる。 	B	<p>2年保育により5歳児が4歳児を気遣ったり、教育効果は非常に高く、町民の需要も大きい。</p> <p>予算をしっかりと要求し、希望者全員を受入れできるよう努力する必要がある。</p>
15	学校の危機管理 の徹底 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害・事件・事故から児童生徒及び教職員等の命や身体を守り、安全を確保する。 ・危機管理マニュアルの効果的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度においては、東日本大震災を受け、全小中学校において「津波・地震」を想定したマニュアルの見直しを図った。 ・避難訓練の内容もすべての危機管理を踏まえて見直し、訓練を年次的・計画的に行うよう年間計画に位置づけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を受け、各学校単位での危機管理マニュアルは、作成済みである。 ・今後、平成23年度末に作成された県の防災計画を受けて、平成24年度に制定される町の防災計画と学校の危機管理マニュアルとの整合性を図る必要がある。 	B	<p>町の防災計画との整合を図る必要がある。</p> <p>学校の危機管理マニュアルとは別に、災害時に避難場所として、住民を受け入れる際のマニュアルも策定する必要がある。</p>

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																					
16	公約・評価・公表による活力ある学校づくり (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱し学校運営の資質の向上を図る。 ・開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者や地域住民等の意向を把握・反映し、その協力を得るとともに、学校運営の状況等を保護者や地域住民等に周知するなど学校としての説明責任を果たしていく。 ・校長は、学校運営の状況について点検及び評価を行い、その結果を公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員を置くことによって、保護者や地域住民の意見を広く聴くことができ、地域の協力が得られやすくなった。 <p>【学校評議員、学校関係者評価委員委嘱人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校評議員</th> <th>学校関係者評価委員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>坂田小学校</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>西原小学校</td> <td>3人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>西原東小学校</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>西原南小学校</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>西原中学校</td> <td>5人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>西原東中学校</td> <td>3人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>		学校評議員	学校関係者評価委員	坂田小学校	5人	5人	西原小学校	3人	4人	西原東小学校	4人	4人	西原南小学校	5人	5人	西原中学校	5人	4人	西原東中学校	3人	4人	各学校で、学校評議員と学校関係者評価委員を兼任している場合が多く、任期終了後の人材確保や人選が難しい。	B	PTA役員と相談するなどして、学校評議員と学校関係者評価委員が重ならないようにする必要がある。
	学校評議員	学校関係者評価委員																									
坂田小学校	5人	5人																									
西原小学校	3人	4人																									
西原東小学校	4人	4人																									
西原南小学校	5人	5人																									
西原中学校	5人	4人																									
西原東中学校	3人	4人																									
17	指導方法の改善・充実 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方法改善加配教諭を活用し、指導方法の改善を図る。 ・個に応じた学習指導により、「分かる授業」「参加する授業」の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方法改善加配教諭を活用し、少人数指導、補習指導、個に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図っている。(現在、各学校に1名ずつ配置されている。) ・補充的な学習、発展的な学習を取り入れたことにより、個に応じた学習指導ができた。 ・課題点の一つであった指導方法改善加配教諭を効果的に活用するための体制を、各学校とも工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導を実施し、個に応じた指導が展開できるようになったが、基礎学力が不十分な層の学力向上が課題である。それも踏まえ、平成24年度はブロック型研究の推進を図る必要がある。 ・計画的な補習指導の時間の確保が必要である。 	B	次年度は、週時程に計画的な補習指導の位置づけをするなど小中6校に指導助言が必要である。																					
18	学校支援地域本部事業 (生涯学習課)	地域住民が持っている力や社会教育で学んだ成果を活用し、学校教育活動を支援することで、地域の絆を強め、地域の教育力の活性化・学校教育の充実を図る。	坂田小学校・西原南小学校・西原中学校の3校で、地域コーディネーターを中心に、学校支援ボランティアが学習支援や環境整備等の現場に入った。 学校教員の負担軽減につながった。	国・県から補助金を得ているが、使用範囲が限定されるため、学校教員の要望に対応できない場合があったので、町予算の確保が必要である。	B	地域コーディネーターの業務の基準があいまいであったため、本来のボランティア派遣の活動に支障があった。																					

(社会教育・スポーツ活動の充実)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
19	ブックスタート 事業 (生涯学習課)	赤ちゃんと保護者が絵本を介して、ゆっくり心ふれあひとときをもつきっかけをつくり、赤ちゃんの健やかな成長を応援する。	2ヶ月に1回の乳児一般健診時に、町立図書館・福祉課・読みあいネットワーク喜楽星7と連携して、絵本の読み聞かせとプレゼントを行った。対象者 382 名の内、278 名に実施し、親子のふれあいの時間を作れた。	新規事業ということもあり、周知不足で、健診を終えると足早に帰路につく親子もいたため、健診会場から事業会場までの誘導・雰囲気づくり・広報等の充実・強化が必要である	B	絵本を受け取った親子は約70%で、達成率から見ると不十分であった。 受付で健診スタッフに声かけしてもらおうといった工夫も必要である。
20	青少年健全育成事業 (生涯学習課)	町内にある団体・個人で、町青少年健全育成協議会を構成し、青少年の健全な育成を図る。	「少年を守る日」毎月第3金曜日と夏休み期間の毎週金曜日に夜間巡回指導を行い、延べ 532 名が参加した。 また、7月に一斉行動を行い、11月に社会環境実態調査等を実施した。 少年補導員等の協力で、青少年の非行防止に寄与した。 2月の「西原町教育の日」には善行青少年 43 名及び 16 団体に対し、表彰を行った。	構成団体の中でも協力が積極的な団体と消極的な団体に二分化している。 事業のマンネリ化もあり参加者が減少しているが、新規事業を立ち上げるには予算額の増額が無いと厳しい状況である。	B	各種事業の参加者数が固定化・減少化し、事業計画の改善が必要である。 保護者にもっと多く参加してもらえるような方策をとる必要がある。
21	保健体育事務運営事業 (生涯学習課)	・社会体育に関する事業について、国・県・各種団体等と連携し、全般的な事務事業を行う。 ・体育協会等のスポーツ団体に補助金を交付して、成人、少年等の各種スポーツの競技力向上と底辺拡大を支援する。	【財政援助団体への補助金交付状況】 ・町スポーツ少年団 360,000 円 (活動:野球、空手、バレーボール大会の開催・参加) ・町体育協会 5,500,000 円 (活動:町民陸上競技大会・各種球技大会開催等) ・町バレーボール協会 500,000 円 (活動:バレーボール祭り、教室等の開催) ・町ゲートボール連合会 500,000 円 (活動:毎月定例大会の開催) ※町バスケットボール協会については、大会参加費で運営可能との申出があり、平成 23 年度から補助金は交付していない。 各種のスポーツ団体の開催する区対抗の大会、クラブチーム大会等により地域の活性化、町民の健康増進に寄与している。 特にバレーボール、なぎなた、空手の競技における県内外での活躍は、大きな成果である。	町民参加型のスポーツイベントの開催や若年層のスポーツ離れの傾向もうかがえることから、各種スポーツの指導者育成等の検討も必要である。	B	スポーツ団体への補助金について、経費に無駄はないか確認し、補助額を決定する必要がある。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																											
22	中央公民館運営事業 (生涯学習課)	各種講座や学級を開設し、町民の生涯学習に寄与する。	<p>一般町民や親子を対象とした講座等が167回開催され、延べ2,929人が参加した。</p> <p>【公民館講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶道講座 ・絵手紙講座 ・やさしい環境講座 ・楽しい発声講座 ・西原の歴史講座 ・町内戦跡講座 ・親子絵画教室 ・男の料理教室 ・子ども英語教室 ・うちな一料理講座 ・やまびこ学級 ・家庭菜園の基礎講座 ・生花講座 ・文教のまち学園 <p>【その他公民館事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館移動講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用者の大半が女性で、男性の参加者が少ない。今後、どのようにしたら多くの男性に利用してもらうかが課題である。 ・町民のニーズに合った講座を開催する。 ・広報活動を通して、利用者の拡大を図る。 	B	<p>課題を踏まえて事業計画を立てて事業を実施する必要がある。</p> <p>また公民館の活動について、町民に周知する必要がある。</p>																											
23	図書館事務運営事業 (生涯学習課)	<p>図書館を良好な状態で利用できるよう維持管理を行う。</p> <p>図書貸出し、講座、講演等の充実を図り、多くの住民が利用できるようにする。</p>	<p>【開館日数・貸出冊数等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日</td> <td>268日</td> <td>259日</td> </tr> <tr> <td>入館者</td> <td>170,981人</td> <td>166,899人</td> </tr> <tr> <td>1日あたり入館者数</td> <td>638人</td> <td>645人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>18,154人</td> <td>14,363人</td> </tr> <tr> <td>登録率</td> <td>52.5%</td> <td>41.5%</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>247,364点</td> <td>243,565点</td> </tr> <tr> <td>年1人あたり貸出冊数</td> <td>7.2冊</td> <td>7.1冊</td> </tr> <tr> <td>レファレンス業務</td> <td>3,537件</td> <td>2,324件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・講演会 3回開催 790人参加</p> <p>・町民文化講座 4回開催 49人参加</p> <p>・おはなし会 21回開催 221人参加</p> <p>・上映会 21回開催 1,002人参加</p> <p>・紙芝居 16回開催 145人参加</p> <p>・ベビースクール 6回開催 88人参加</p> <p>【共催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックフェスタ(11月3日) 1回開催 ・あっとーめーのささやき 2回開催 ・琉球新報プレゼンツ3Dシアター 2回開催 ・「黒糖の不思議を発見しよう」 2回開催 ・「西原町立図書館のヒミツを探ろう」 1回開催 		平成22年度	平成23年度	開館日	268日	259日	入館者	170,981人	166,899人	1日あたり入館者数	638人	645人	登録者数	18,154人	14,363人	登録率	52.5%	41.5%	貸出冊数	247,364点	243,565点	年1人あたり貸出冊数	7.2冊	7.1冊	レファレンス業務	3,537件	2,324件	<ul style="list-style-type: none"> ・定期行事(お話会、紙芝居・上映会)は町内保育所・学童などにポスターを配布して広報しており、そのせいもあってか大分定着してきた。今後も配布だけでなくツイッターやさわふじメールを使ってもっと増えるようにしていきたい。 ・講座に関して、中央公民館と内容的に重なる部分が多々見受けられるため、うまい具合にすみ分けができないか検討中である。 ・1人あたりの貸出冊数が減少しているので閲覧室の企画などを今以上に魅力あるものにして、貸出冊数を増やしていきたい。 	B	<p>図書館をもっと大切に利用してもらえよう、図書館の仕事や仕組みなどを知ってもらえるような講座を企画する必要がある。</p> <p>前年度よりも登録者数、貸出冊数が減少している。入館者数、貸出冊数を増やすような努力が必要である。</p>
	平成22年度	平成23年度																															
開館日	268日	259日																															
入館者	170,981人	166,899人																															
1日あたり入館者数	638人	645人																															
登録者数	18,154人	14,363人																															
登録率	52.5%	41.5%																															
貸出冊数	247,364点	243,565点																															
年1人あたり貸出冊数	7.2冊	7.1冊																															
レファレンス業務	3,537件	2,324件																															

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																																																									
24	社会体育施設 運営事業 (生涯学習課)	各スポーツ施設の充実と維持管理を行い、スポーツ用具等の充実を図ることにより、社会体育関係事業の推進に寄与する。	<p>施設の利用人数は着実に伸びており、町民の健康増進や各種スポーツの底辺拡大、競技力の向上等に寄与している</p> <p>【貸出し使用状況及び収入】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">町民体育館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アリーナ</td> <td>1,216件</td> <td>38,326人</td> <td rowspan="3">4,562,800円</td> </tr> <tr> <td>武道場</td> <td>478件</td> <td>8,813人</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>23件</td> <td>1,307人</td> </tr> <tr> <td>トレーニングルーム</td> <td>12,965件</td> <td>12,965人</td> <td>1,296,500円</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>14,682件</td> <td>61,411人</td> <td>5,859,300円</td> </tr> <tr> <th colspan="4">陸上競技場</th> </tr> <tr> <td>トラック&フィールド</td> <td>69件</td> <td>6,033人</td> <td rowspan="2">822,720円</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>131件</td> <td>1,141人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>200件</td> <td>7,174人</td> <td>822,720円</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場</td> <td>27,587件</td> <td>27,587人</td> <td>4,425,900円</td> </tr> <tr> <td>交流広場</td> <td>191件</td> <td>7,208人</td> <td>※無料</td> </tr> <tr> <td>テニスコート場</td> <td>3,813件</td> <td>28,302人</td> <td>2,737,000円</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>31,591件</td> <td>63,097人</td> <td>7,162,900円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>46,473件</td> <td>131,682件</td> <td>13,844,920円</td> </tr> </tbody> </table>	町民体育館				アリーナ	1,216件	38,326人	4,562,800円	武道場	478件	8,813人	会議室	23件	1,307人	トレーニングルーム	12,965件	12,965人	1,296,500円	小計	14,682件	61,411人	5,859,300円	陸上競技場				トラック&フィールド	69件	6,033人	822,720円	会議室	131件	1,141人	小計	200件	7,174人	822,720円	パークゴルフ場	27,587件	27,587人	4,425,900円	交流広場	191件	7,208人	※無料	テニスコート場	3,813件	28,302人	2,737,000円	小計	31,591件	63,097人	7,162,900円	合計	46,473件	131,682件	13,844,920円	<p>・運営経費の削減等による町の負担軽減、利便性の向上等の観点から、事業を民間団体に委任する指定管理者制度の検討が必要である。</p>	B	<p>指定管理者制度は、民間のノウハウを利用してサービスが良くなるという利点があるが、経費削減だけに捕らわれて、無理な運用とならないよう、充分考慮する必要がある。</p>
町民体育館																																																															
アリーナ	1,216件	38,326人	4,562,800円																																																												
武道場	478件	8,813人																																																													
会議室	23件	1,307人																																																													
トレーニングルーム	12,965件	12,965人	1,296,500円																																																												
小計	14,682件	61,411人	5,859,300円																																																												
陸上競技場																																																															
トラック&フィールド	69件	6,033人	822,720円																																																												
会議室	131件	1,141人																																																													
小計	200件	7,174人	822,720円																																																												
パークゴルフ場	27,587件	27,587人	4,425,900円																																																												
交流広場	191件	7,208人	※無料																																																												
テニスコート場	3,813件	28,302人	2,737,000円																																																												
小計	31,591件	63,097人	7,162,900円																																																												
合計	46,473件	131,682件	13,844,920円																																																												

(コミュニティ活動支援の充実)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
25	成人式事業 (生涯学習課)	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことを目的に、新成人を招いて、式典を開催する。	「成人の日」前日の日曜日の午後に開催している。新成人対象者は608名で前年より増加した。	新成人・後輩達・保護者が積極的に関与できるような式典づくりを検討しなければならない。	B	<p>会場外での迷惑行為に対して、統一的な共通認識と対応が求められる。</p> <p>式典会場の空席が目立った。会場づくりを工夫する必要がある。</p>

(文化の継承・発展と創造)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
26	内間御殿整備事業 (生涯学習課)	本町の代表的な文化財である内間御殿を後世に残していくために復元・整備をしていく。	<p>指定の意義、史跡の価値、町づくりとのかかわりなどについて町民の目線で講話を行い、今後の整備計画や町づくり等に対する町の考え方についてパネルディスカッションを行った。</p> <p>【内間御殿国指定記念シンポジウム～国指定史跡内間御殿の意義と新生西原の町づくり～】 基調報告:佐藤正知(文化庁文化財化記念物課主任文化財調査官) 基調講演:高良倉吉(琉球大学文学部教授:歴史家) パネルディスカッション:町長他4名 日時:6月18日午後1時30分 参加者:150名</p>	平成24年度から保存・活用に向けて整備を行っていくが、文化行政の職員体制を強化する必要がある。専門職及び適切な人数の職員配置が望まれる。	A	<p>シンポジウムを開催し、内間御殿の素晴らしさと活用について町民の皆さんに関心を持ってもらうことができた。</p> <p>平成24年6月1日に専門職員を採用し、保存管理計画の策定にとりかかっているところである。</p> <p>発掘調査が始まると、発掘品の整理、保管、展示の場所が必要となってくるので、調査に先行して場所を確保する必要がある。</p>
27	町史編纂事業 (生涯学習課)	地域資料を発掘し、本町の歩みを明らかにし、町民にその成果を還元する。	平成23年度は念願の通史編を発行し、町史編纂業務を完了することができた。言語編と併せた出版祝賀会を開催した。	町史編纂事業終了後、いままで収集した膨大な資料の整理、保存、公開をいかにするかが大きな課題である。	A	当初の目的を達成したが、町史の編纂はこれで終わりではなく、次の編纂を意識して、資料収集を継続する必要がある。

(国際・国内交流の推進)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
28	国際理解教育・ 外国語教育の 推進 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の授業において、ネイティブスピーカーによる指導の機会を設けることにより、外国語をより身近なものとし、児童生徒の語学習得意欲を増進させる。 ・アメリカハワイ州に中学2年生を短期派遣し、国際的視野を広め、国際性を身につけ、国際社会に対応する青少年の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校に英語活動指導員を配置し、外国語活動の充実に役立てた。 ・中学校に英語指導助手(ALT)を配置したことにより、効果的に英語教育ができた。さらに授業外でのふれあいを持つことにより、国際理解と国際感覚の増進へとつながった。 ・中学生海外短期留学事業参加者のほとんどが、「英語力をもっと向上させたい。」「国際性を身につけ、外国で活躍したい。」と意欲的になった。 	<p>ホームステイ先の家族と日常会話のコミュニケーションをするため、短期留学前に英語の研修を行う等、事前研修が必要である。</p> <p>平成24年度からは、英語活動指導員を学習指導要領どおり、小学校5・6年生への固定配置とする。</p>	B	<p>中学生海外短期留学については、生徒が英語学習に意欲を持ち、ハワイの文化、歴史、地理などに対して興味・関心を持つ良い機会となっており、国際的感覚を養うことにもつながっている。</p>
29	海外移住者子弟 研修受入事業 (生涯学習課)	<p>技術等の習得及び町民との交流を通して社会の発展に寄与する人材を育成すると共に、国際交流思想の高揚及びこれからの移住国と本町との友好親善に資する。</p>	<p>ペルー共和国、ブラジル連邦共和国、アルゼンチン共和国から西原町海外移住者子弟の研修生を受け入れ、技術等の習得の研修及び町民との交流を行った。 (期間6ヶ月間)</p> <p>【主な研修及び交流事業】 (研修先) 南西石油株式会社・屋富祖びんがた工房・沖縄NGOセンター・株式会社沖創工・沖縄電力株式会社・国立劇場おきなわ等 (主な交流事業) 坂田保育所体験交流・西原東小学校1日体験入学・町戦没者追悼式等</p> <p>【成果】 本町と移住国との交流は、町民の国際感覚を育み、相互間の絆を一層深めることにもつながっている。</p>	<p>研修生が3世・4世の世代になってきているため、受入当初は日本語があまり話せない研修生もおり、日本語の研修のあり方等も検討する必要がある。また、専門的研修内容では研修生の要望に合った研修受入れ先の確保が容易でない。</p>	A	<p>海外移住者子弟との交流により、町民の国際感覚を育み、相互の絆を深めることができた。</p>

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
30	世界のニシハラン チュの集い (生涯学習課)	5年に1度の「世界のウチ ナーンチュ大会」と連携して、 国境を越えて絆や友情を育 むことを目的にレセプション などを開催する。	「世界のウチナーンチュ大会」期間中の10月14日 に、「世界のニシハランチュの集い」を開催し、町内施設 等の案内(52名参加)、歓迎レセプション(368名参加)を 行った。また、ペルー移民展も同時に開催し、ボランティ ア(14名)の協力で世界のニシハランチュを迎えることが できた。	今後はメール等を活用して、海外町 人会との絆づくりが必要であり、海外移 住者子弟研修生受入事業も継続するな らば、国際交流担当の新設が望まれ る。	A	町内施設めぐり、歓 迎レセプションとも多数 の参加があり、盛り上が りのある集いとなった。

4. 有識者の知見の活用について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第2項の規定では、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとなっていますが、西原町教育委員会では、教育に関して学識経験のある方3人で組織する「西原町教育委員会の点検及び評価に関する有識者会議」を設置し、主要事業の管理及び執行等について意見をいただき、各事業の点検及び評価に反映させました。

有識者会議の委員及び主な意見は次のとおりです。

(1) 点検・評価に関する有識者会議委員名簿

氏名	任期	備考
田港 朝勝	H23.10.26～H25.3.31	元西原南小学校校長
大城 洋子	H23.10.26～H25.3.31	元西原町教育委員
大城 剛	H23.10.26～H25.3.31	西原町PTA連合会会長

(2) 有識者会議での主な意見

2回の各課長によるヒアリング、1回の有識者会議を開催し、事務事業点検評価についてご意見をいただきました。

主な意見としては、

- ・昨年度も意見したが、「幼稚園2年保育の充実拡大」については、幼児期の成長は大きく待ったなしである。「幼稚園施設維持管理」とも併せて取り組み、希望者を全員受入れできるよう努力して欲しい。
- ・「学校給食共同調理場事務運営事業」については、コンテナ代等の費用がかかることも分かるが、大事なのは教育を中心に考えることであり、食育という観点から、ごはん茶碗をもう1つ増やして、正しいマナーを身に着けさせることが大事である。
- ・「学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の充実」においては、複雑化する教育課程や学校で起こっている諸問題を考えても、学校支援のための指導主事2人体制は欠かせない。
等があり、これらを優先課題として取り組んでいただくよう要望があったほか、委員の豊富な経験から、事業改善に向けた詳しいアドバイスもいただきました。
各事業について、優先順位を決めて長期的に計画し、「文教のまち西原」にふさわしい取り組みをして欲しいとのご意見もいただきました。

結びに

今年度は、教育委員と有識者と合同でヒアリングを行い、各事業について積極的に質問し、教育委員会の事業の取組み、課題を知ることができました。有識者委員の皆様にはお忙しいなか、ヒアリングから参加していただき、大変、貴重な意見をいただいたことに感謝いたします。いただいた意見、提言を真摯に受け止め、事業内容の充実、改善に役立てていく所存であります。

この点検評価も4回目となり、職員及び教育委員の意識も変わってきました。このように目に見える形で報告されることにより、職員は、P(Plan・計画)、D(Do・実行)、C(Check・評価)、A(Action・見直し)サイクルに沿って、常に課題を意識し自分の担当している事業をより良くするために、実行するようになりました。

教育委員も、教育委員会の事業の管理及び執行状況について責任を持って考え、現場へ適切なアドバイスを行い、意見するという意識も強くなりました。

今後も、関係機関との連携強化を図り、より良い教育行政の推進に努めてまいりたいと思います。